

オーディオ実験室収載

PC 専用インシュレーター PSI-2000 の導入(3) —DSD 録音—

1. はじめに

前報(2)において PSI-2000 を Sonica DAC に使用した効果を認めましたので、ベルリンフィルディジタルコンサートホールの録音を行ってみます。

2. 録音と PSI-2000 の試聴方法

録音経路は次のとおりです。

PC→iPurifier 2 (Type B) →Sonica DAC→TASCAM DA-3000

Sonica DAC には PSI-2000 を敷き、DA-3000 には GPS-777 か 44.1KHz のクロックを入力しています。また、PC および Sonica DAC の電源を採っている NPX-001 には iPurifier AC を差し込んでいます。PC では、Sound の設定を 192KHz にしてアップサンプリングし、Sonica DAC には 192KHzPCM で送り込んでいます。

再生は、DA-3000 で録音した 5.6MHzDSF 音源を fidata にコピーし、fidata から USB 経由で Sonica DAC に送り込んでいます。

PC は常用の HDD 仕様の W8.1 機でなく、SSD 仕様の W10 機を使用します。

3. PSI-2000 の試聴結果

まず、PC からのベルリンフィルディジタルコンサートホールのアーカイブからのオリジナルの再生と比較しますと、録音した 5.6MHzDSF 音源を fidata から USB 経由で Sonica DAC に送り込んで再生したものは、ほとんどと言ってよいくらい音質の劣化はありません。

また、PSI-2000 や iPurifier AC を使用していなかった W10 を使用した録音と比べると、一段とベルリンフィル大ホールのリアル感が向上しています。

4. まとめ

Sonica DAC に敷いた PSI-2000 の効果は、SSD 仕様の W10 機や電源ボックスへの iPurifier AC の適用と相まって、これまでになかったベルリンフィル大ホールのリアル感が録音にまで及んでいます。

以上